

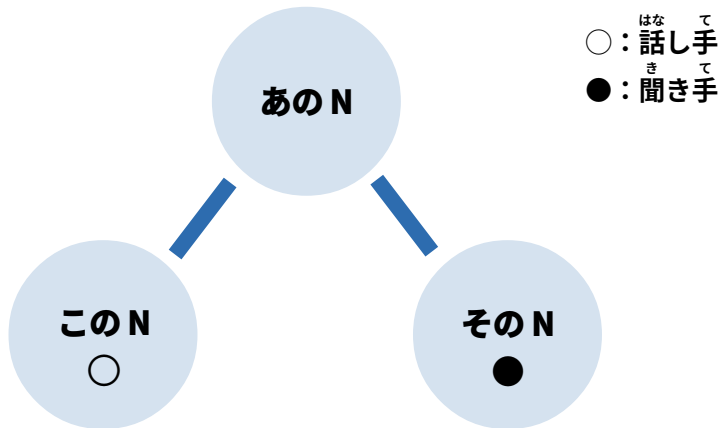
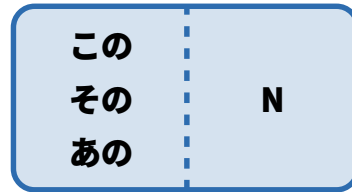


図 1

○：話し手
●：聞き手

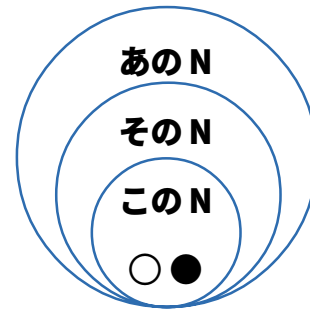


図 2

基 本

例 文

① この部屋は2年生の教室です。

② その本はわたしのです。

③ 山田先生はあの人です。

④ (教室で授業中に)

A: 先生、その漢字は「ご」ですか。

B: これですか。はい、そうです。

⑤ A: あのかばんはだれのですか。

B: どのかばんですか。

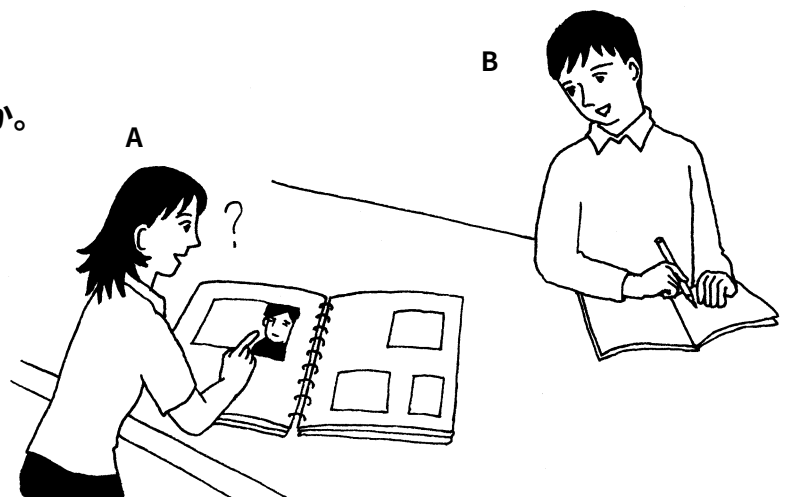
A: あのかばんは黒いのかばんです。

B: あれは田中さんのです。

⑥ (写真を見ながら)

A: この人はだれですか。

B: その人は中山さんです。

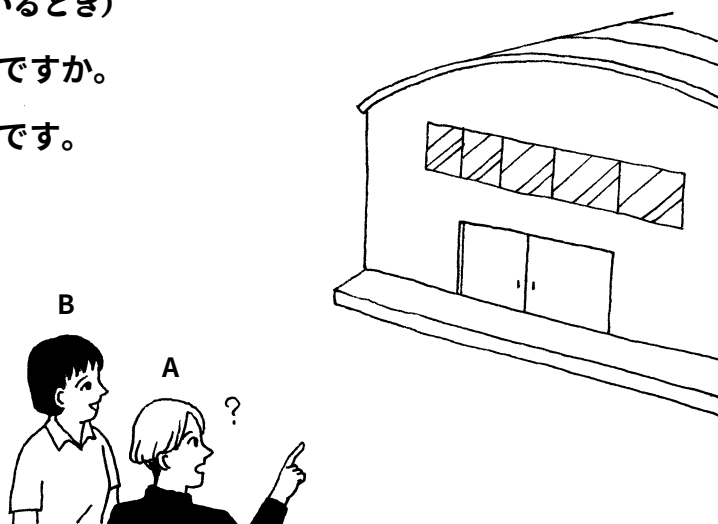


例文 ⑥

⑦ (学校を案内しているとき)

A: あの建物は何ですか。

B: あれは体育館です。



例文 ⑦

解 説

A. 「この／その／あの」は特定されたNがどれかを指し示す。(例文①～⑦)

B. 特定されたNがどれかを聞かるときは、「どのN」を使う。(例文⑤)

C. 話し手と聞き手が相対する状況で、「この／その／あの」は【図1】のような関係になる。

(例文④⑥)

D. 話し手と聞き手が同じ領域にいる状況で、「この／その／あの」は【図2】のような関係になる。(例文⑦)

先生へ

◆ 「この／その／あの」は指示詞。

◆ 指示詞のまとめは、巻末「2. 指示詞」(p.259)を参照。

◇ Nを修飾することばがある場合の語順に注意すること。

例1 あのきれいな女の人は山本さんです。

2 その大きいかばんはわたしのです。

【関連項目】

語-02 これ／それ／あれ
語-04 ここ／そこ／あそこ
語-09 こそあど

【「れんしゅう編」の練習】

2-6 だれのですか